

社会資本総合整備計画 事前評価調書

計 画 の 概 要	計画の分野	地域住宅支援
	計画の名称	富山市における住環境整備とにぎわい拠点の創出(防災・安全)
	交付対象	富山市
	計画期間	平成22年度～平成26年度(5年間)
	計画の目標	・子供から高齢者、障害者まですべての人が安心して集い快適に暮らすことができる住環境改善に向け、防災・安全性の向上を図る。
	定量的指標 (目標値)	・市内の住宅総数のうち、新耐震基準で建築されたものと耐震化工事を行ったものを合わせた数の割合を上げる、【76.0% (H23調査)→85.0% (H26末)】 ・本市が管理する公営住宅のうち、耐震性に問題がある住棟をなくす、【1棟(H22当初)→0棟(H26末)】 ・本市が管理する公営住宅のうち、外壁安全改修が必要な住棟における実施済みの割合を上げる、【23.8% (H24末)→47.6% (H26末)】 ・改正耐震改正促進法による耐震診断義務付け対象建築物のうち、耐震診断未実施の数を減らす、【7件(H25末)→4件(H26末)】
	対象事業	・地域住宅計画に基づく事業 ・住環境整備事業
全体事業費	350百万円	

項 目	評 価 細 目	評 価	説 明 欄
目標の妥当性	1 関連する上位計画等との整合性が図られているか	○	富山市総合計画に位置付けられた内容と整合がとれている
	2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか	○	富山市総合計画の目標と整合がとれている
計画の効果・効率性	1 整備計画の目標と定量的指標の整合性が確保されているか	○	整備計画の目標を定量的に図ることができる指標を設定している
	2 定量的指標が分かりやすいものとなっているか	○	毎年の統計データや定期的実施している調査結果を基にした指標であり、中間・事後評価時に検証可能かつ適切な指標となっている
	3 目標と事業内容の整合性が確保されているか	○	目標達成に必要な事業を要素事業として位置付けており、整合性を確保している
	4 中間評価・事後評価時に検証可能な適切な指標となっているか	○	毎年の統計データや定期的実施している調査結果を基にした指標であり、中間・事後評価時に検証可能かつ適切な指標となっている
	5 十分な事業効果が得られる計画となっているか	○	目標達成に必要な事業を要素事業として位置付けており、事業効果が得られる計画となっている
計画の実現可能性	1 計画の熟度が高く、円滑な事業執行の環境が整っているか	○	目標達成に必要な事業を位置付けており、計画の熟度および円滑な事業執行環境は整っている
	2 地元の機運が醸成されているか	○	地元からの要望が強い事業も多く含まれていることから、地元との合意形成など実現に向けて機運が醸成されている
評 価 結 果	評価Ⅰ 事業を実施 評価Ⅱ 計画の見直し		【評価基準】 「評価Ⅰ」は、全項目に○印が付いているもの 「評価Ⅱ」は、1項目でも×が付いているもの